

フューエルポンプモジュール脱着作業要領

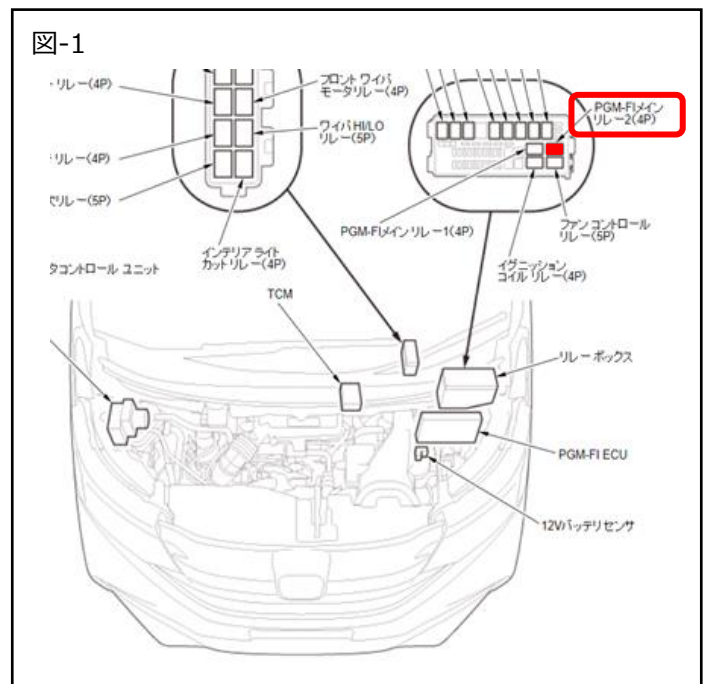
機種名	型式
STEPWGN	RP1 RP2 RP3 RP4 RP5

■ 使用する部品番号

型式・タイプ	部品番号
RP1 RP3 全車共通	06170-TAA-315
RP2 RP4 全車共通	06170-TAB-305
RP5 全車共通	06170-TAD-305

- 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。
- POWERスイッチはOFFモードで、フューエルフィルターキャップを開ける。
- PGM-FIメインリレー-2(A)を取り外す。

図-1参照



- エンジンを始動し、ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンジン停止したらPOWERスイッチを押しOFFモードにする。
- 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。

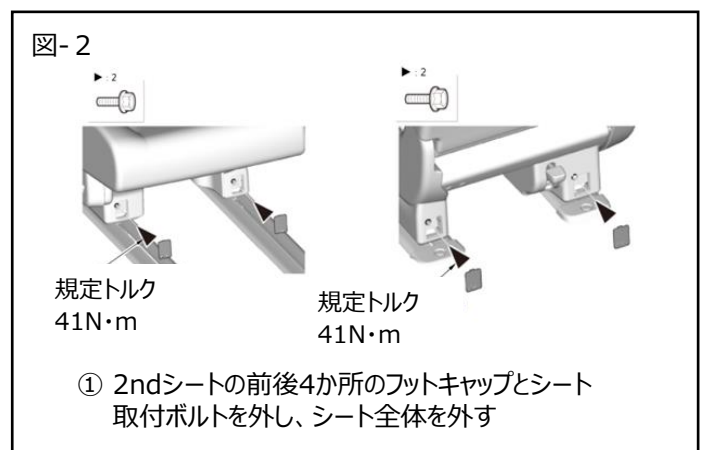
- 下記の周辺部品を外す。

【キャプテンシート仕様】

※ キャプテンシート仕様車は左右2ndシートの間で作業できるため、シート脱着は不要です。

【ベンチシート仕様】

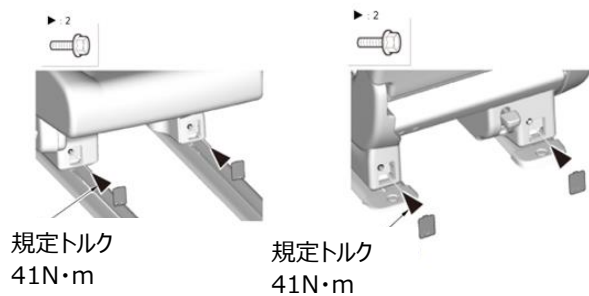
左側2ndシートを外す。 図-2参照



【2列目車いす仕様、2列目&3列目車いす仕様】

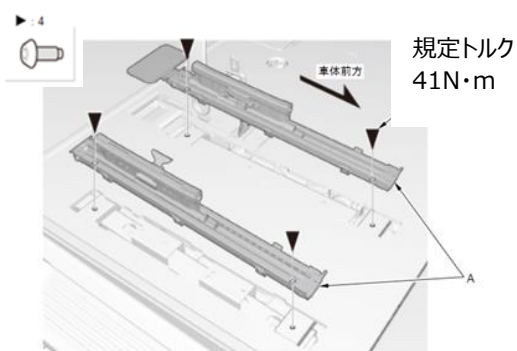
Frフロアボードを取り外す。 図-3参照

図-3

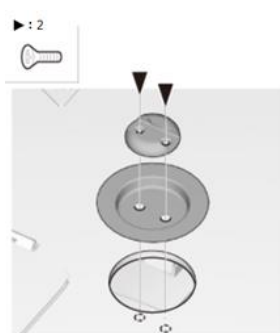


- ① 右2ndシートの前後4か所のフットキャップとシート
取付ボルトを外し、シート全体を外す

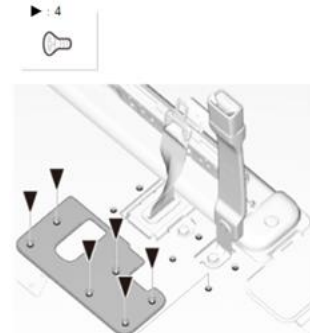
- ② 右2ndシートのスライドレールカバー
(A,B)を外す



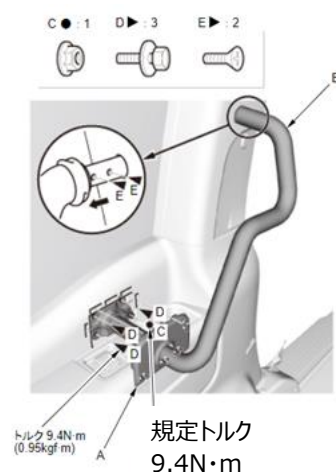
- ③ 右2ndシートのスライドレール(A)を
外す



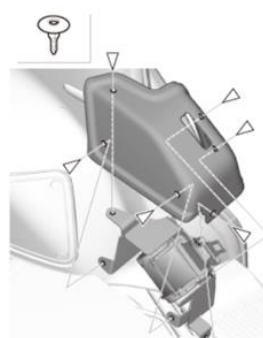
- ④ ホイールチェアア
フックカバーを外す



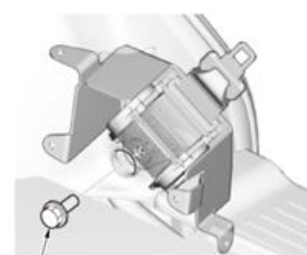
- ⑤ Frボードベルトカバー
を外す



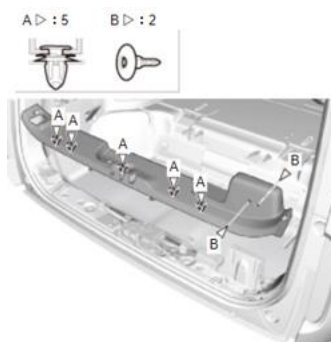
- ⑥ ホイールチェアグリップを外す



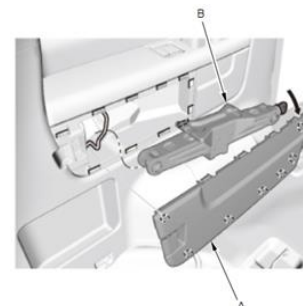
- ⑦ 2列目車いす仕様車は2ndホイールチェア
ラップベルトを外す



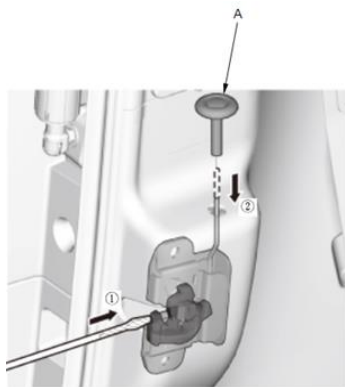
- ⑧ 2ndシートベルトフロア
アンカーを外す



- ⑨ Rrパネルライニングを外す

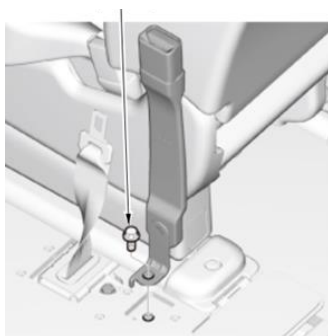


- ⑩ 左Rrサイドライニングからジャッキ
リッド(A)を外し、車載ジャッキを
取り出す

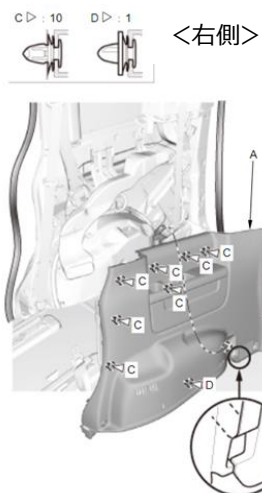


- ⑪ スローロックノブを外す
※ 組み付ける際は、締め過ぎに注意すること

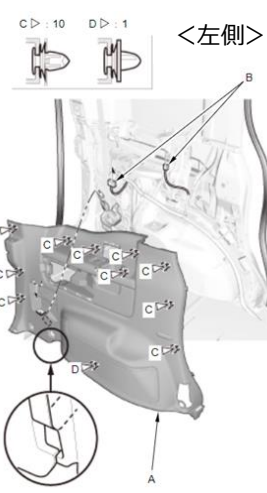
規定トルク
39N・m



- ⑬ 2列目車いす仕様車は
2ndホイールチェアラップ
ベルトバックルを外す

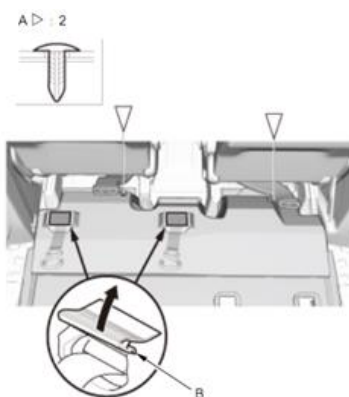


<右側>

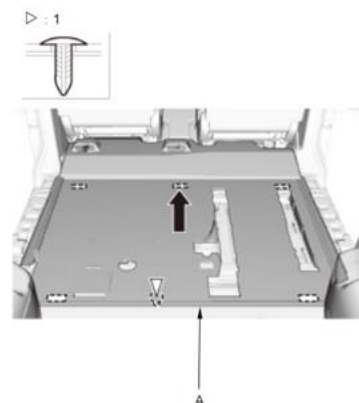


<左側>

- ⑫ 左右Rrサイドライニング(A)を外す
※ 破損の注意すること



- ⑭ Frフロアボード前側を固定
しているクリップ(A)とカー
ペットプロテクタ(B)を外す

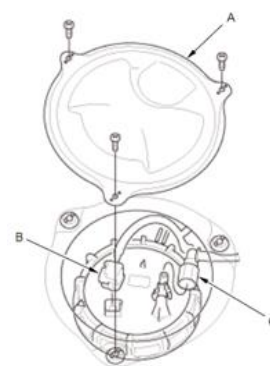


- ⑮ Frフロアボード後側を固定
しているクリップを外し、Fr
フロアボードを外す

7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプ
モジュールからカプラ(B)を外す。

図-4参照

図-4



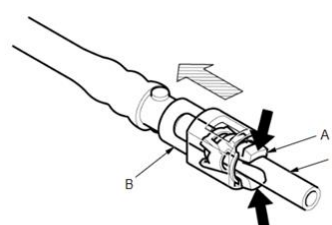
8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺に
ウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を
指でつまみながらチューブを外す。

図-5参照

※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換

図-5

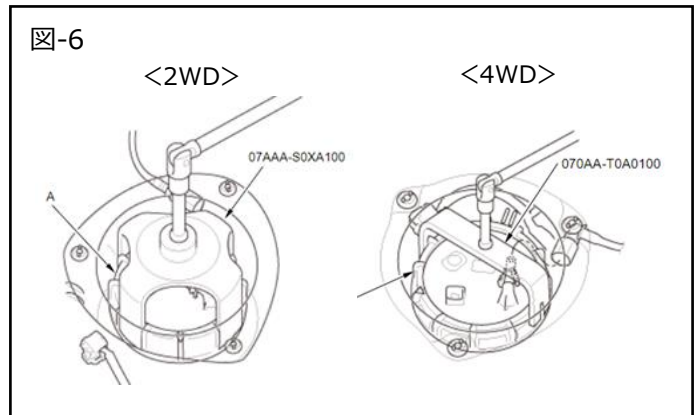


10. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット(A)を外す。

図-6参照

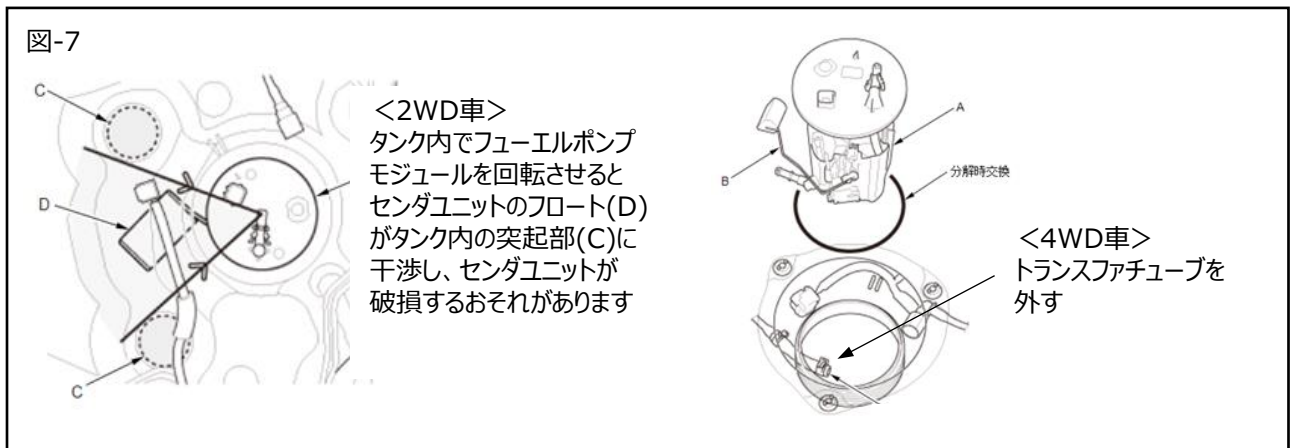
- ※ ロックナットレンチ部番
2WD : 07AAA-S0XA100
4WD : 070AA-T0A0100

- ※ ロックナットは分解時交換



11. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。 図-7参照

- ※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと
- ※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること
- ※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る（再使用防止）
- ※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。



12. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

- ※ 参照するポンプ交換作業要領
2WD : A 4WD : C

- ※ 「再使用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。
図-8参照

- ※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。

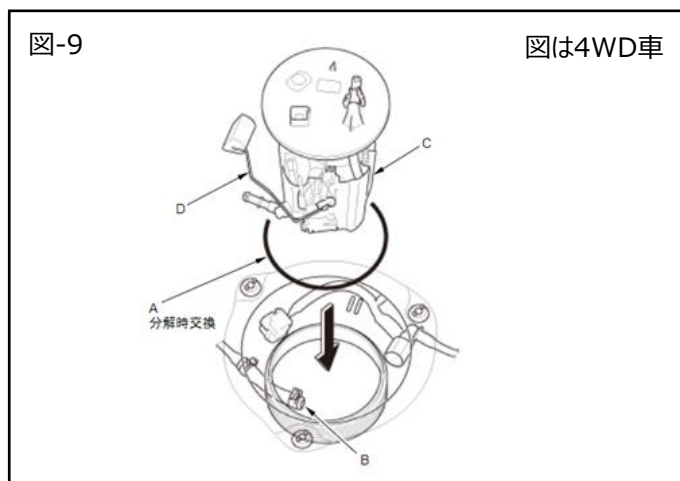


13. 2WD車はフューエルポンプモジュールに、4WD車はフューエルタンクのネジ上部に新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

※ 4WD車はトランスファチューブ(B)を確実に接続すること。
図-9参照

※ パッキンの位置は図-11参照

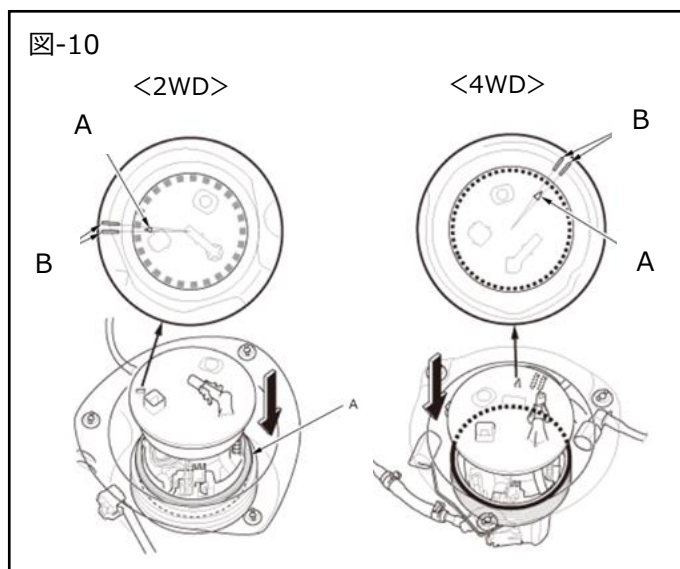
※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。



14. パッキンをタンク側にセットし、フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(A)をタンク側の合わせマーク(B)に合わせ、パッキンが密着するまで垂直に押しつける。

図-10参照

※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。

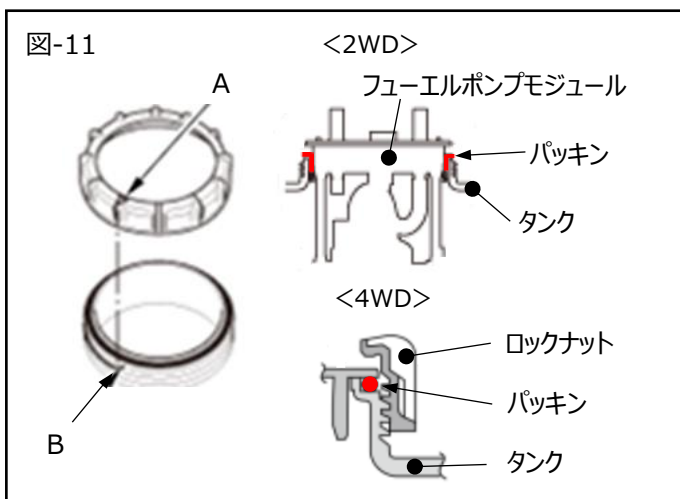


15. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まりを(B)合わせて、ロックナットを手でねじ込む。

図-11参照

※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。

※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないように十分に注意すること。



16. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

※ ロックナットレンチ部番
2WD : 07AAA-S0XA100
4WD : 070AA-T0A0100

※ ロックナット規定トルク
2WD : 70N・m
4WD : 100N・m

17. クイックコネクタ(A)とカプラ(B)を接続する。

図-12参照

※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込み
その後、軽い力で引っ張り、抜けないことを
確認すること。

18. バッテリのマイナス端子を接続する。

19. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを
1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモード
にする。

20. 手順19.の操作を3回以上繰り返し、クイックコネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

21. 整備主任者に中間検査を依頼する。

22. 整備主任者は下記項目を確認すること。

- ① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていない
ことを確認する。
- ② フューエルポンプモジュールとロックナットの間
にシクネスゲージを差し込み0.04mmが入らない
ことを確認する。

図-13参照

※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合は
ロックナットが斜めに入っているため、タンク交換
が必要となります。

③ クイックコネクタ、カプラ、バッテリー端子の接続を確認する。

④ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

23. 手順22.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを取り付け、運転席シートを組付ける。
フューエルフィルターキャップを締め、リッドを閉じる。

24. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

25. 整備主任者は下記項目を確認する。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

26. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-14参照

27. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を
作成し、印刷してください。

28. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順27.で作成した請求書と作業完了
報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。

図-12

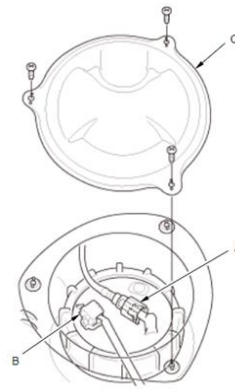
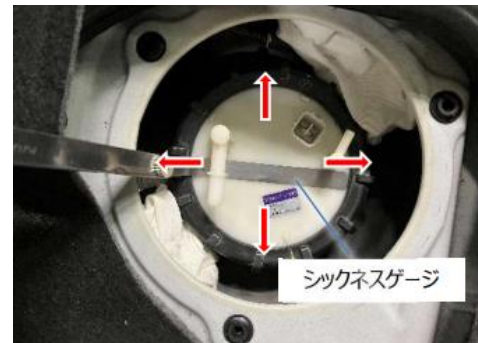
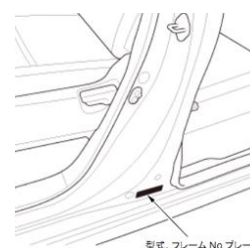


図-13



シクネスゲージは4方向に差し込んで確認すること

図-14



インフォメーションラベル

本田技研工業株式会社
型式 XXX-XXX
車台番号 XXX-1000000
TYPE XXXX
XXX XXX-XXXXX -X -X